

西角けい子(ステージメソッド塾代表)著「100 点満点とれる子の育て方ー 平均点以下でも必ず伸びる習慣ー」ダイヤモンド社、2013 年 7 月 19 日刊を読む

1. 小学校 1 年からのやりなおし学習…学力の現在地を知ろう

- (1)「あ」から「ん」までを書いてみよう(ひらがなで)
- (2)かたかなで「ぬ」「ね」「を」を書いてみよう
- (3)「○曜日」の○を全部漢字で書いてみよう
- (4)あいさつを 5 つ以上書いてみよう
- (5)「かお」「め」「みみ」「はな」「くち」を漢字で書いてみよう

└─ 小 1 からのやりなおし学習に挑戦しよう
市販の問題集で O.K.

2. 漢字(語句)テストの手順「朝刊」

- (1)「朝刊」の漢字を正確に見る
- (2)「音読」を 5 回くらい繰り返す
- (3)漢字の「トメ」や「ハネ」に注意しながらノートに 3 行「朝刊」と書く
- (4)5 分後にテストをする
- (5)子どもに答え合わせをさせ、合っていれば「○」をつけて「100 点」と書かせる
間違っていたら「×」をつけて「0 点」と書かせる
*どうすれば 100 点がとれるか考えさせる

3. テキストや問題集の重要語句を上の方法で毎日、少しずつ「暗記」する

語句の意味も音読、書き取り、「漢字(語句)テスト」をくり返しながら暗記する

4. 筆記用具の濃さは「2B」以上がよい《えんぴつは 2B》

「キッチンタイマー」を用い時間を区切る(子どもは 5 分、15 分など奇数時間を好む)

5. ひとりに強くなること…「常に友だちと一緒に行動する」という考えを捨てる

勉強ができてても精神面が弱ければ社会を生きていけない

受験勉強や定期試験対策で「社会を生きていく力」をつける

6. 「ほめる」より「ねぎらう」

- (1)ほめる 祝う、物事を評価し、よしとしてその気持ちを表す たたえる、賞讃する(すごい、さすが、よくがんばったね)
- (2)ねぎらう ほねおりを慰める、労を謝するー相手の努力に対し感謝の気持ちを表す

100 点満点のテストで満点がとれずに 99 点を取りくやしくて泣いている子に対して…

ほめる

「99 点。すごい。えらい。よくがんばったね。」

ねぎらう

＜子どもが努力してきたプロセスを伝える＞

「99 点。そうだよね。くやしいよね。でもあなたががんばっていたことは私が一番よく知っているから大丈夫。次は 100 点とろうね。一緒にがんばろう。応援するから。」

[コメント]

教え子の大半の偏差値を 25 以上短期間に上昇させ、地域社会から高い評価を受けている西宮のステージメソッド塾代表の西角けい子先生の学習方法、子どもへの接し方は参考になる。

塾生全員に「1」のテストをして学力の現在地を自覚させた上で、小学校 1 年生用の市販の問題集を用いて復習をさせること。テキストや問題集に出てきた重要語のすべてを、「2」「3」「4」の方法で正確に身に付け続けること。そのために「一人であることに強くなること」。親や先生は、子どもを「ほめる」ことをせず、子どもが学習したプロセスを「ねぎらう」ことに徹すること。

1 つ 1 つがよく考え抜かれた指導方法で、今日からでも取り入れたいものばかりだ。

－ 2013 年 10 月 1 日 林 明夫記 －